

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 30日

松山市長 殿

提出者

住 所 愛媛県松山市勝山町2丁目6-3

氏 名 共立建設株式会社中四国支店
四国営業支店

四国営業支店長 和気 寛之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 089-968-1506

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	共立建設株式会社中四国支店 四国営業支店
事業場の所在地	愛媛県松山市勝山町2丁目6-3
事業の種類	06:建設業-総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	別添1	全処理委託量	別添1
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別添1	優良認定処理業者への 処理委託量	別添1
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別添1	再生利用業者への 処理委託量	別添1
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別添1	認定熱回収業者への 処理委託量	別添1
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別添1	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別添1

※事務処理欄

別添1

令和6年度の産業廃棄物処理計画における目標値

(単位：t)

項目	⑤産業廃棄物の処理の委託に関する事項					全処理委託量			
	①産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	②自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	③自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	④自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
産業廃棄物の種類	産業廃棄物の搬出量	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理した産業廃棄物の量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量				
02 汚泥	0								
06 廃プラスチック類	120				120	120			
08 木くず	600				600	600			
12 金属くず	400				400	400			
13 ガラス、陶磁器くず、 廃石膏ボード	70				70	70			
15 がれき類	9,000				9,000	9,000			
21 安定型混合廃棄物	20				20	20			
22 管理型混合廃棄物	90				90	90			
100 廃石綿等	40				40	40			
合計	10,340				10,340	10,340	0		

令和6年度の産業廃棄物処理計画実施状況報告書

(単位: t)

産業廃棄物の種類 名 称	計 画					実 施		状 況			
	の					(① - ① - ② - ③ - ④ - ⑤ - ⑥ - ⑦ = ⑧ + ⑨ + ⑩ + ⑪ + ⑫)		区 分			
	① 発生した産業廃棄物の種類ごとの量	② 自ら直接処理した量	③ 自ら直接処理せず自ら処理した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ①のうち、③の量から④の量を差し引いた量	⑥ ①のうち、③の量から④の量を差し引いた量	⑦ ①のうち、③の量から④の量を差し引いた量	⑧ ①のうち、③の量から④の量を差し引いた量	⑨ ①のうち、③の量から④の量を差し引いた量	⑩ ①のうち、③の量から④の量を差し引いた量	⑪ ①のうち、③の量から④の量を差し引いた量
産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、自ら直接処理した量	①の量のうち、自ら直接処理せず自ら処理した量	①の量のうち、自ら直接処理せず自ら処理した量	①の量のうち、自ら直接処理せず自ら処理した量	①の量のうち、自ら直接処理せず自ら処理した量	①の量のうち、自ら直接処理せず自ら処理した量	①の量のうち、自ら直接処理せず自ら処理した量	①の量のうち、自ら直接処理せず自ら処理した量	①の量のうち、自ら直接処理せず自ら処理した量	①の量のうち、自ら直接処理せず自ら処理した量
	15 がれき類	27.38					27.38				
	13 ガラス、陶磁器くず、磁石	6.03					6.03				
	21 安定型混合廃棄物	8.84					8.84				
	22 管理型混合廃棄物	8.32					8.32				
産業廃棄物の種類	100 磁石綿等	0.45					0.45				
合 計	51.02						51.02			51.02	14.35

(産業廃棄物の種類: 15 がれき類)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

②

自ら直接 再生利用した量
0.00

③

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
0.00

④

自ら中間処理 した量
0.00

⑤

④のうち熱回収 を行った量
0.00

⑥

自ら中間処理した 後の残さ量
0.00

⑦

自ら中間処理によ り減量した量
0.00

⑧

自ら中間処理した後 再生利用した量
0.00

⑨

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
0.00

⑩

直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量
27.38

⑪

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
0.00

⑫

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
0.00

⑬

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
0.00

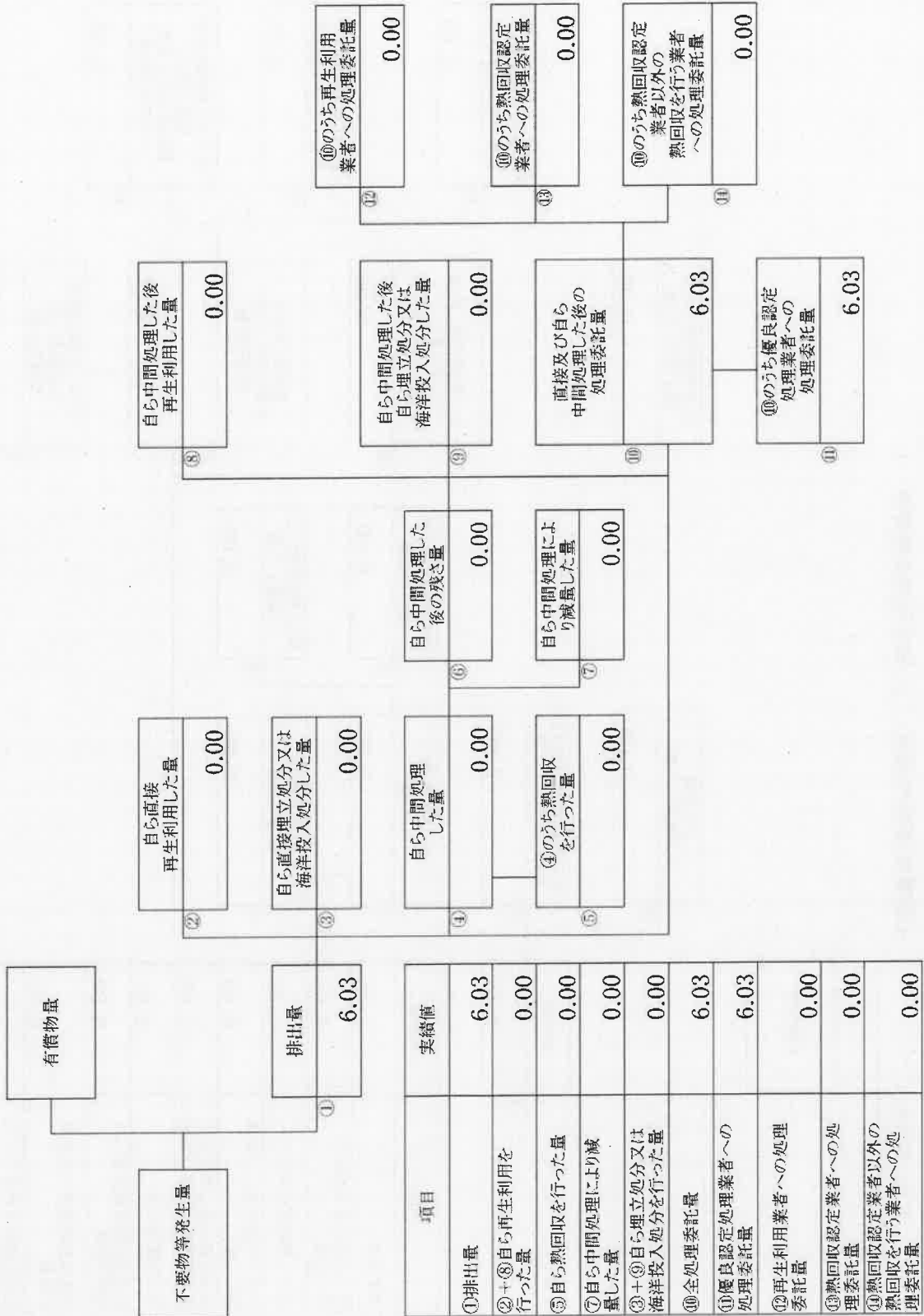
⑭

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
0.00

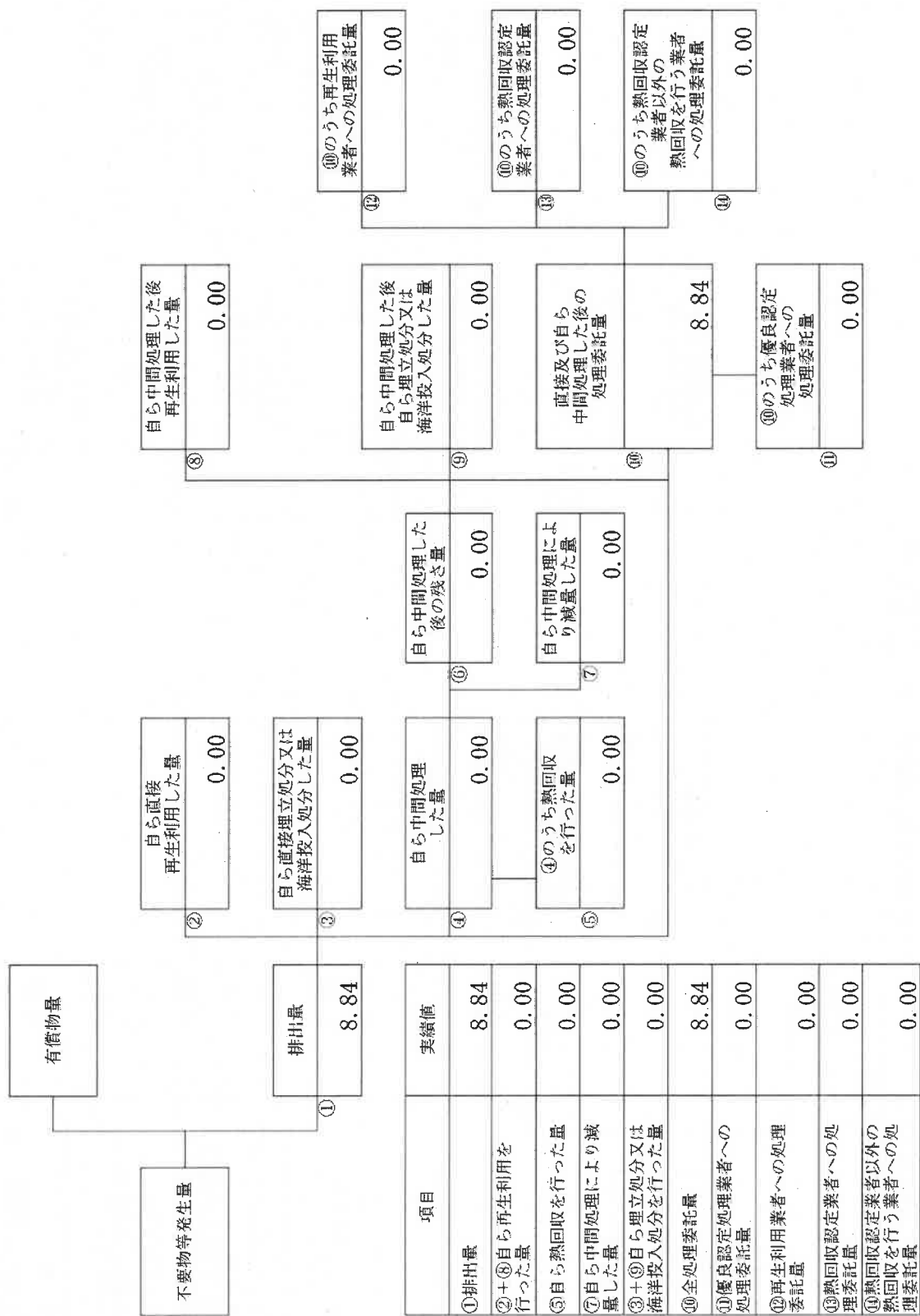
項目	実績値
①排出量	27.38
②+⑧自ら再生利用を 行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減 量した量	0.00
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	27.38
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理 委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.00

(産業廃棄物の種類: 13 ガラス、陶磁器くず、
廃石膏ボード)

計画の実施状況

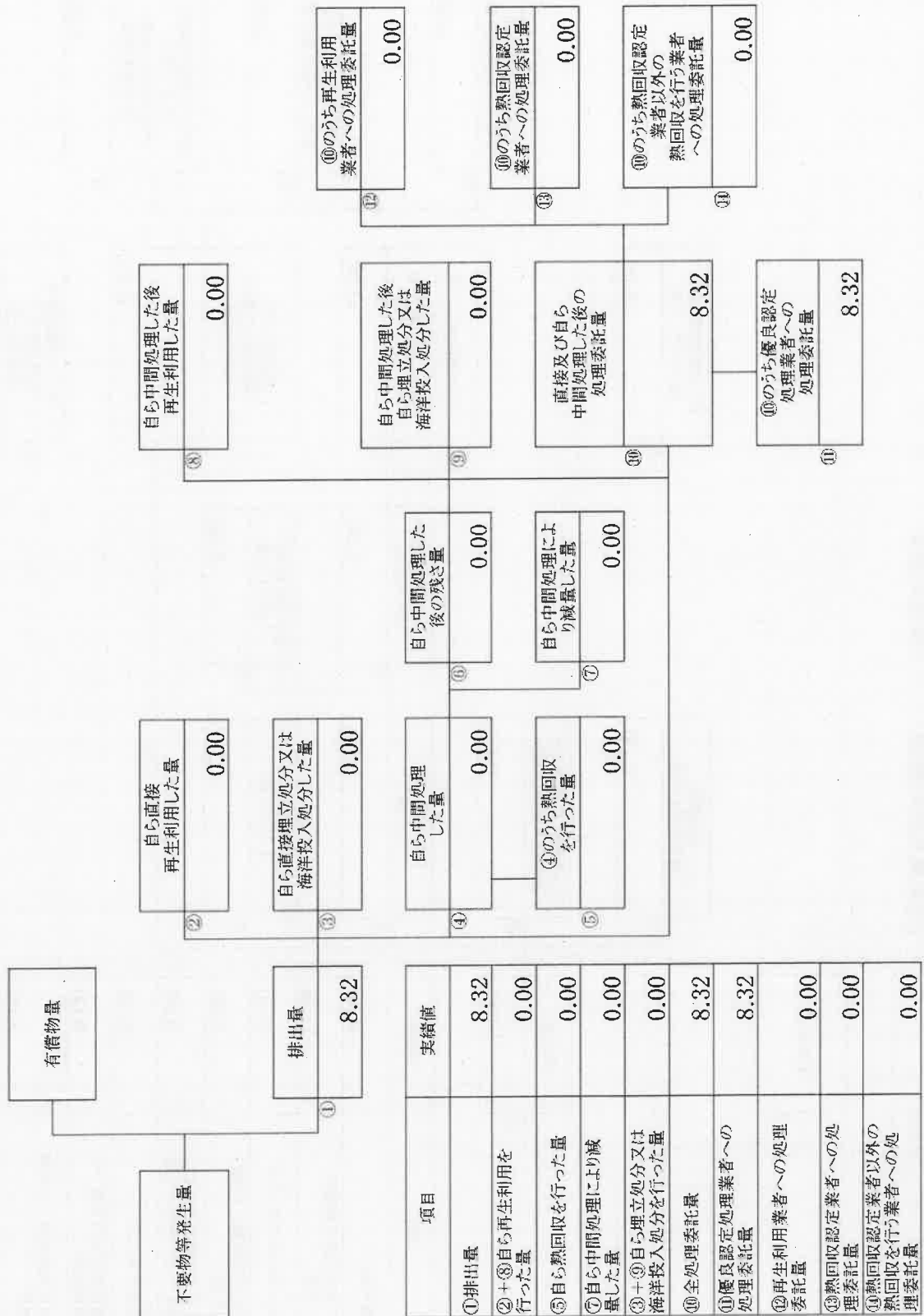


(産業廃棄物の種類: 21 安定型混合廃棄物)



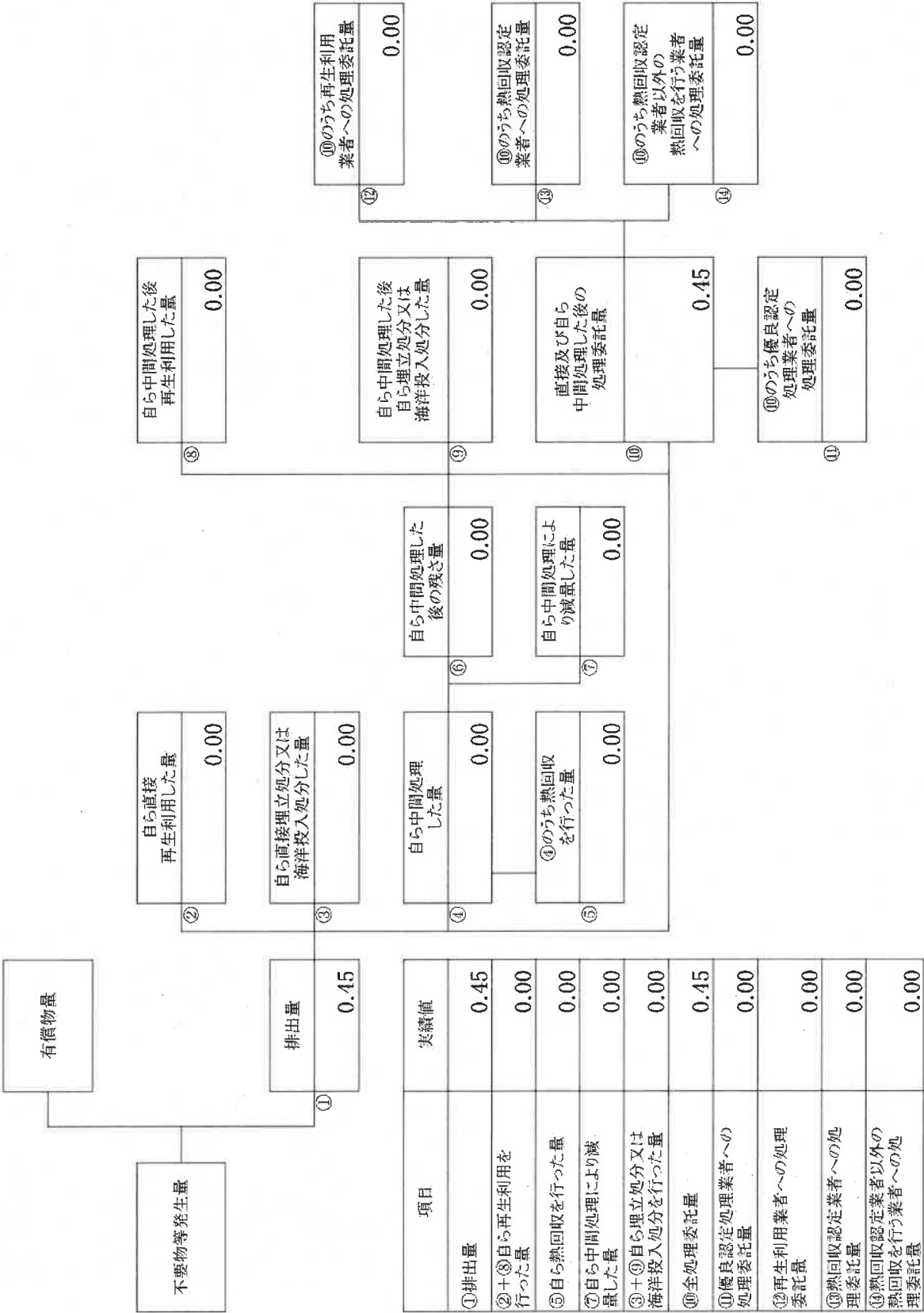
(産業廃棄物の種類: 22 管理型混合廃棄物)

計画の実施状況



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 100 廃石綿等)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

